

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ふれあいランド
	所在地	東京都あきる野市小川1343-101
	所管課	観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名 称	一般社団法人 あきる野市観光協会
	所在地	東京都あきる野市館谷台16番地
	業務内容	1 施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 2 環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が、施設内に自動車等を乗り入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 3 施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページ URL		http://www.akirunokanko.com/
指 定 期 間		令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開館等日数(日)	296	309	261	171	236
利用者(来客者)数(人)	11,802	8,555	4,522	3,486	2,940
前年度比(人)	△3,198	△3,247	△4,033	△1,036	△546
前年度比(%)	78.7	72.5	52.9	77.1	84.3
利用料金等合計(千円)	9,575	7,530	6,894	5,243	4,720
前年度比(千円)	△2,203	△2,045	△636	△1,651	△523
前年度比(%)	81.3	78.6	91.6	76.1	90.0

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入(売上)	7,394	5,875	5,352	4,025	3,720
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	2,182	1,655	1,543	1,218	1,001
	計	9,575	7,530	6,894	5,243	4,720

支 出	人件費	4,113	2,833	2,530	1,611	1,940
	維持管理経費	688	1,613	1,175	912	531
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	2,903	2,635	2,617	2,192	1,086
	計	7,705	7,082	6,323	4,715	3,557
収支（収入－支出）		1,870	449	571	528	1,163

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対し、口頭にて利用状況等を確認している。 ・静かな場所でバーベキューを楽しみたいとの声がある。 ・電話等による予約の際には、新規利用者かリピーターかの確認と、施設利用に当たっての要望などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ洋式化の要望が寄せられていたが、今年度、トイレ洋式化工事が完了した。 ・事故防止のための救命講習会を開催し、緊急時の対応についての確認を行い、職員間で情報共有を図った。 ・近年、トイレへの落書き等の苦情が寄せられ、その都度清掃などを行い対応している。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校等の課外授業や地域事業の受入れを実施している。 ・施設近くには食材等の調達店舗がないため、電話対応時に、観光協会会員店や食材・飲み物の配達サービス店舗を紹介するなど、利用者のサービス向上に努めている。 ・人が密集する調理場などについては、飛沫防止用アクリル板や手指の消毒液、石鹼などを通常よりも多く設置し、感染予防対策を行った。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
業務に支障のない範囲で節電、節水に努めている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
<p>台風等の影響により開園日数が減少した。特に、東京都による台風等被害からの河川敷復旧工事が長期間に及んだこと、また、新型コロナの蔓延により、行政からの行動制限や休業要請などで臨時休業したことにより、下半期の利用者数が伸び悩み、全体的に前年実績を大きく下回った。</p> <p>当施設においては、家族や友人同士の小グループで利用するリピーターが多いが、徐々に学生グループの利用も増えてきている。</p> <p>事故防止対策については、遊泳及び暴飲についての看板やチラシ、口頭や園内放送など様々な方法により注意喚起を行った。今後も、事故防止と園内整備に注意を払うとともに、利用者一人ひとりを大切にしてリピーターの確保に従業員一同努めていく。</p>

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
利用者に対する事故・トラブル防止のための注意喚起、地域行事へ施設を貸し出すなど、利用者及び近隣住民等に配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。
経費削減の取組
<p>利用者に配慮しながらの節電と節水に努め、経費削減が図られている。</p> <p>また、収支状況が厳しい中、仕入方法などを工夫して、積極的に経費削減に努めている。</p>

業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
令和2年度は、台風被害や新型コロナの影響により厳しい状況が続いた。このような現状に加え、利用者数の減少が目立ってきているため、運営計画及び収支計画を見直すなどの対策が必要である。今後も事故・トラブル等の防止に努め、利用者が安心して楽しめる施設運営に努めてもらいたい。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。